

eiga world cup 2021
Best Picture Award

IAHSFF 2022
Official Selection

AIYFF 2022
Official Selection

Cinecyce 2022
Official Selection

JFFH 2022
Official Selection

今日も明日も 負け犬。

中札内上映会

主演、原作、監督、脚本
全員高校生!?

私はここで泣いています——
あなたのハグをひとつ私にください——

起立性調節障害の
女子高校生監督が
自身の壮大な過去を実写化

菜々夏 ひかる 吉竹里海 松葉美夏子 佐々木ひより ナレーション: 山口穂葉

監督: 西山夏実 脚本: 小田実里

主題歌「君のとなりで。」 柴戸愛香 作詞作曲/ちゃんぽのP 挿入歌「孤独を詠む」 河野ゆうと 小黒恩賓 作詞作曲/ちゃも

スタイリスト: 佐久間エミナ 古賀月海 メイキング: 柴原萌 大場七海 宮本澤奈 大道具: 宮田万優 ラインプロデューサー: 山口穂葉

AD: 野仲すみれ 荒木愛実 池内好美 和田幸歩 中村みなみ 岡澤七星 曾田小春 濱田幸奈 フライヤー: 撮影/ 播磨宏汰 デザイン/ 長谷川テツ
後援: 福岡市

日時

令和5年
5月21日
(日)

①14:00~
②18:00~
いずれも15分前開場
全席自由

チケット

大人ひとり
500円
高校生以下無料

会場

中札内文化創造センター
ハーモニーホール
(中札内村東4条南6丁目1-3)

チケット
取扱い

中札内図書館
☎0155-67-2261

主催
お問い合わせ

中札内スペシャルニーズプロジェクト実行委員会
☎090-7645-7831(代表 川田)
E-mail na.specialneeds@gmail.com

今日も明日も負け犬。

～16歳が書く一冊の本から始まった奇跡～

起立性調節障害のJK監督 率いる学生映画チームが送る奇跡の実話

監督 西山夏実の夢
「自分の人生を映画化する」
から全てが始まった。

「本書いてよ」西山（当時16歳）はクラスメイトの小田（当時16歳）に言った。
緊急事態宣言下の3か月間、脚本の小田実里が映画の原作となる西山の人生を描いた本を執筆。

本は即日完売。予想を上回る反響から映画化を決めた。

SNSで呼びかけ、監督、脚本、キャスト、スタイリスト、AD、メイキングなど
すべてが学生の期間限定チームが結束された。

映画の作り方すら誰も知らないそんな「大人立ち入り禁止の撮影現場」が生まれた。

「コロナ禍」「学生」「初心者」「闘病」様々な壁を乗り越え、
1年かけて紡いだのが本映画である。



～story～

中学2年生の西山夏実は、素敵な先生や友達に恵まれ、順風満帆な学校生活を送っていた。

しかし、ある日突然「起立性調節障害」という病気が彼女の体を襲う。

遅刻、欠席が増え、教室に入ることができなくなった夏実は、保健室登校を始める。

病気を周りに理解されないことが、身体だけでなくいつのまにか夏実の心までも苦しめていたのである。

そこで出会った 蒔田ひかる という少女が夏実の運命を左右することに。

生気を失ったような彼女は、口を開くことも微笑むことも全くしない。

夏実はそんなひかるを見て、鏡を見ているような気分になっていた。

夏実は〈ひかるを笑わせる〉という夢を抱き、保健室生活を二人で過ごすのが、ひかるは突如姿を消す。

果たして、夏実は病気を抱える体で夢を叶えることができるのか。

二人が紡いだ【奇跡の物語】が、あなたの心に寄り添う。



～ごあいさつ～

「やる気の問題」と誤解を受けやすく、不登校などの二次障害にもつながることがある「起立性調節障害」。

大都会の人口が多い地域だけの話ではなく、私達が住む身近な地域でも当事者本人や家族がつらく悩んでいる実情があります。

周囲の理解があるだけで病気が改善に向かうこともあります。

上映会を通じて病気を正しく知り、病気に苦しむ本人やその家族の気持ちに寄り添える寛容な地域社会になっていくことを願っています。

また、映画製作という大事業を高校生だけで成し遂げたという事実から、地域の子ども達へ自信と自身への可能性を感じてもらえたらと思います。

ご来場を心よりお待ちしております。

中札内スペシャルニーズプロジェクト実行委員会
代表 川田美紀
会員一同